

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英会話	
科目基礎情報							
科目番号	0142		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	情報電子工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	Breakthrough Plus 3						
担当教員	ハリー チャインバース						
到達目標							
To help students develop their English speaking skills. Between pre-2nd and 2nd grade in the STEP.							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		can control a basic conversation fluently	can control a basic conversation moderately fluently	cannot control a basic conversation			
評価項目2		can describe opinions in English clearly	can describe opinions in English moderately clearly	cannot describe opinions in English			
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 A 2 JABEE f							
教育方法等							
概要	Use of text book and conversations with native speaker as well as testing						
授業の進め方・方法	Generally the text will comprise a bulk of the class work. But supplementary material will be used at each teacher's discretion.						
注意点	Grades will be based 80% from test scores and 20% from class participation and attendance by teachers judgment.						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	Unit1	Introductions / Memories			
		2週	Unit2	Life changes			
		3週	Unit3	Viewpoints			
		4週	Unit4	Problems			
		5週	Unit5	Thinking ahead			
		6週	Unit6	Imagine			
		7週	Unit7	My World			
		8週	中間試験	Basic but practical examination covering what has been taught so far.			
	2ndQ	9週	Review of the test	Giving correct answers and explanations.			
		10週	Unit8	Past Events			
		11週	Unit9	Feeling & opinions			
		12週	Unit10	What if…?			
		13週	Unit11	Work it out			
		14週	Unit12	Looking back			
		15週	期末試験	Basic but practical examination covering what has been taught so far.			
		16週	答案返却など	Giving correct answers and explanations.			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3		
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3		
			英語運用能力向上のための学習	英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3		

				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。	3		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0